

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和5年10月27日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 創志会

代表者名 松尾 和仁



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	大越 拓也
出張先	台湾 (台北市)
期間	令和5年10月8日～令和5年10月11日 (4日間)
用務	中華民国双十節祝賀式典出席
調査(研修)結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

中華民国双十節祝賀式典出席

双十国慶節（建国記念日）は辛亥革命の発端となった、1911年10月10日の武昌蜂起を記念しており、中華民国の独立と建国を祝う日であり、台湾においては国家の安定性と独立性を強調する重要な日となっている。パレードや花火大会、文化イベントなどが行われ、国内外で祝われている。釧路市動物園と台北市立動物園は友好園協定を締結しており、国の特別天然記念物である「タンチョウ」と「マリモ」を釧路市から無償貸与している。また、昨年には台湾の花蓮県花蓮市との友好交流協定を締結し、今年1月には蝦名市長をはじめとする釧路市の公式訪問団が花蓮市を訪れ、6月には花蓮市訪問団が釧路市を訪問し、相互の人的交流も行われている。11月には釧路市立北陽高校が修学旅行で台北市を訪れることが決まっている。

台湾との繋がりや日は重ねるごとに深くなっており、民間においても釧路日台親善協会では毎年、台湾の留学生を招聘し、様々なイベントを通して釧路市民と交流を深めている。

そのような縁などもあり、釧路市議会日台友好促進議員連盟は、双十国慶節に初めて招待され、宮田副議長、大越（日台議連会長 文責）、板谷議員（日台議連幹事）で出席した。また、今回の訪台に合わせ、9日には台北動物園を表敬訪問した。

訪問日：令和5年10月9日

場所：台北市立動物園

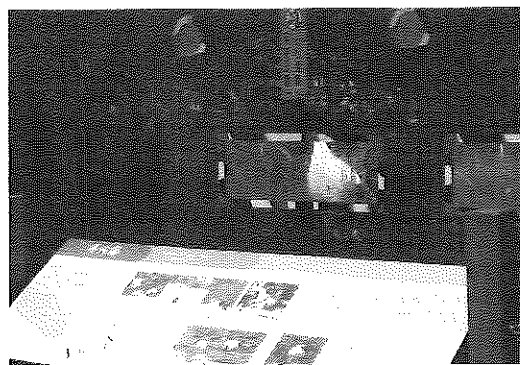
担当者：朱孝芬副園長、張東君（台北動物保全教育基金会研究員、通訳）

釧路生まれのタンチョウ、ビッグとキカの間に誕生した「哩鶴（リーホー）」の飼育状況などを視察。24時間体制での監視や見やすい展示など、とても大切に扱われており、来園者からも非常に人気が高く、朱孝芬副園長方との意見交換では「台湾と日本、台北市と釧路市の関係強化も含め、タンチョウの2世、3世以降に繋がることを期待している。そのためにもリーホーのパートナーについても是非検討して欲しい。」との要望を受けた。台北市立動物園は、年間入園者数約350万人。雨の日でも入園者数が2万人（1日）を超える日も珍しくない。とても大きな動物園で、東洋一の動物園と言われている。台北市は日本国内からの観光客も非常に多く、リピーターも多いとのこと。

台北市立動物園には日本の特別天然記念物である、タンチョウやマリモがいることを国内でももっとアピールする必要がある、友好園協定を結んでいる釧路市動物園も、協定を意義深いものとするべく両園のより深化した連携の必要性を実感した。



（右から2番目 朱孝芬副園長）



双十国慶節

開催日：10月10日

会場：中華民国總統府前

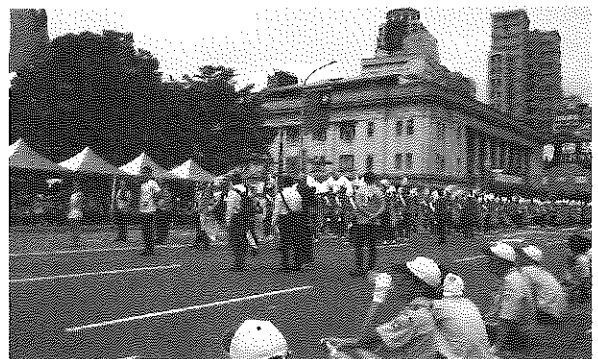
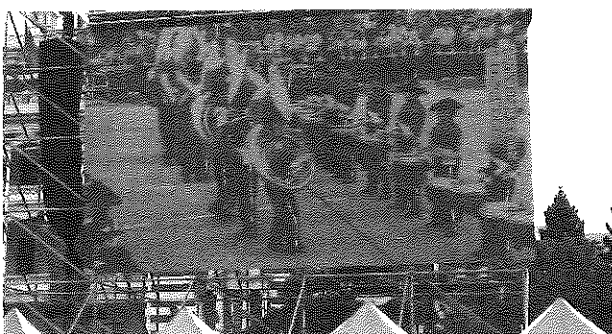
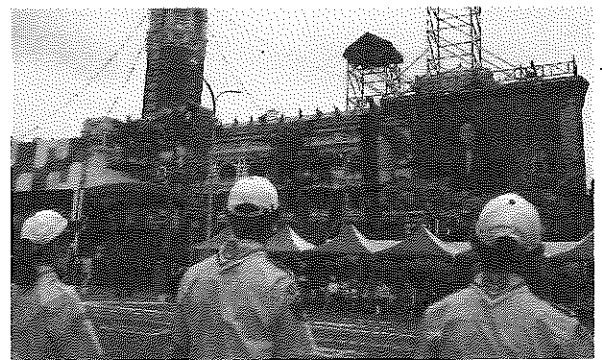
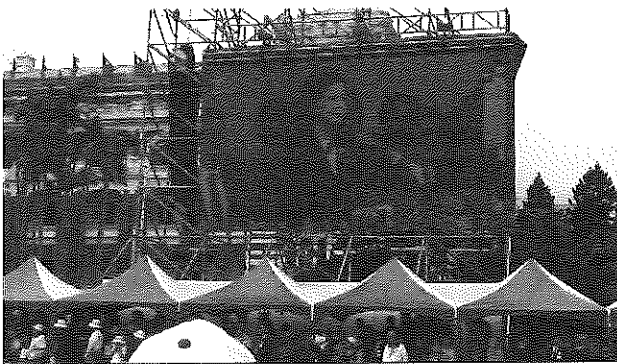
海外の親善使節団や大使、外交官、華僑などが参加した国慶節の式典が、總統府前広場で盛大に行われた。

錫堃（ゆうしゃくこん）立法院長（国会議長に相当）の開会の辞で幕を開けた今年の國慶節式典に、日本からは史上最多人数となる日華議員懇談会43名をはじめ、東京農業大学第二高校などが参加。北海道からも、北海道議会日台親善議員会、北海道日台日台親善協会など出席。

昨年の京都橘高校に続いて、今年も日本から高校吹奏楽部が国慶節に招待された。東京農業大学第二高校はエメラルド色のユニフォームと黒のカウボーイハットでアニソンメドレーを演奏、素晴らしいパフォーマンスを披露した。続いてパレードを行ったのは43名の議員を派遣した日華議員懇談会。

日本のパレードの時、式典司会者は、「中国が台湾産の果物を禁輸した時に日本がパイナップルをたくさん買ってくれたことに台湾人は感謝している」等と紹介し、日台友好ムードを盛り上げていた。その後続には、カリフォルニア大学ロサンゼルス校のマーチングバンドとバトントワラーが続ぎ、台湾は日米との関係は盤石だとアピール。

台湾は日本の重要な貿易パートナーであり、経済的な関係も深い国である。今回の招待は、釧路日台友好促進議員連盟が釧路市と台湾との交流の架け橋と認められている証であり、引き続き関係各位と更なる連携を深めて参りたい。



帰国後、釧路新聞社にて訪台の報告会を行った。

日 (月曜日) 釧路 正午 旅行 月曜

友好関係強化を図る 釧路市議会 台北市の祝賀式典参加

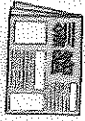
台湾の台北市で10日開かれた双十節 建国記念日の祝賀式典に、釧路市議会と友好関係強化推進委員 長 金長・大越拓也市長が初めて招待された。大越市長、坂谷副市長、富田副市長が出席したほか、3人は釧路市動物園と台北市動物園を視察している。台北市動物園を訪れ、釧路と台湾のさらなる友好関係強化について意見交換した。(坂谷副市長)

双十節は、辛亥革命の志 志願者らに敬意を深めとった1911年10月10日。この日は、訪台中に3人 10日の祝賀式典に参加して、台北市動物園を訪れ、台北市動物園と釧路市動物園の友好関係強化推進委員のタンチョウ、動物園の友好関係強化推進委員のタンチョウ、別荘別荘「阿羅漢のま 別荘」の飼育状況など、リネ、タンチョウの飼育状況を視察。24時間の監視カメラで見やすい展示など大切に扱われており、東郷君から敬意を述べたことなども、長らとの意見交換では、今後の関係強化も含め、リネのハートナーについて、坂谷市長に出席した大越市長は、今回の招待は、速報も検討してほしい、などの話が釧路市と台北市の友好関係が深められていく、前同 今後の訪台について、大越市長は、東郷一氏の動物園に

釧路のタンチョウ飼育場を視察していること、もうと国内にアピールする必要がある、リネ、タンチョウについても、行政や道 道に連携してできるような支援していきたい、坂谷市長は「せっかくの機会を結んでいるのだから、釧路市動物園も見せ方や来場者の誘導など、さまざまなことを学ぶ必要があると感じた」と話していた。



来副議長 (右から二人目) と総務を深めた3人 (日台友好促進協議会副議長)



まとめ読み

～地域の問題をお届け～

(10月30日 釧路新聞)